



11月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和5年11月1日

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」

さくら組さんがお部屋の前で育てたお米の稲刈りをしました。稲架掛け（天日干し）をしてから、暮らしの伝承郷さんでお借りした千歯こきで、青木先生と一緒に脱穀をしました。お米の籾殻をむいてみると茶色い玄米があらわれました。玄米を精米すると白米になるということをお話しすると興味深く聞いていました。帰りのバスの中で、Hくんがすみれ組の先生に、「先生は何のお米を食べているの？玄米？白米？」と聞いてきたそうです。「さくら組さんは、よくお話を聞いているのですね！」と、感心していました。「米」という字は八十八と書き、お米ができるまで88の手間暇がかかります。農家の方に、一粒一粒、感謝しながらよく噛んでいただき、丈夫な身体を作っていきたいですね。

先日、後期の内科検診が行われました。5・4・3歳児さんは、園医の先生から、「誰一人泣かないで、病気や体重過多も無く、おりこうさんですね！」と、お褒めの言葉をいただきました。2・1・0歳児さんはそれぞれ健やかに成長されていますということでした。これも、日頃のご家庭での健康管理のおかげと感謝申し上げます。引き続き、宜しく願い致します。

さて、11月6日（月）・8日（水）は『作品展』です。今年度は各学年で、『好きなテーマパーク』を作り上げています。さくら組さんは「さくら遊園地」で、グループで話し合いながら工夫して、ジェットコースター・コーヒーカップ・観覧車を作り上げています。すみれ組さんは「スーパーすみれワールド」でミニオンやスーパーマリオブラザーズのキャラクターの世界を作っています。ばら組さんは「トイストーリーの世界」でウッディやフォークーを作っています。もも・たんぽぽ・ちゅうりっぷ組さんは「レゴランド」で、赤・黄・緑・青色のブロックの世界で、一人ひとりの制作が生かされています。当日は、子どもたちが素材や材料を生かして、思い思いに塗ったり、切ったり、貼ったり、描いたり、組み立てたり、発想豊かで个性的に仕上がった『テーマパーク』での作品の数々を楽しみにご覧下さい。

11月23日は「勤労感謝の日」です。園ではこの日に因み、5歳児は歩いて西野屋さんへ出かけお店を見学し、コロケを買って、松が丘公園で遊んできます。4歳児は常磐消防署見学と21世紀の森公園で遊びます。3歳児は平第一幼稚園の給食室で働いている人を見学し、園庭で遊んできます。それぞれ感謝の気持ちがもてるよう伝えたいと思います。